

# 研究実施のお知らせ

2021年7月19日 ver.1.0

## 研究課題名

周産期合併症に関連する耐糖能指標・母体背景因子の調査

## 研究の対象となる方

2010年1月から2020年12月の間に島根大学医学部附属病院の産婦人科外来の妊婦検診で75g経口ブドウ糖負荷試験（以下OGTT）を受けられた方

## 研究の目的・意義

周産期合併症と妊婦の75g経口ブドウ糖負荷試験（以下OGTT）から得た耐糖能指標や母体背景因子がどのように関連しているかどうかを調査することを目的としています。

本研究により、周産期合併症に関連する耐糖能指標や母体背景因子の関連があきらかになれば、より簡便に治療強化が必要な患者さんを判別することが可能となり、早期介入が可能となります。さらに周産期合併症を減らすことに結び付けることができると考えています。

## 研究の方法

### 単機関後方視的観察研究

カルテより後方視的に当院産婦人科で過去10年間に実施したOGTTのデータ、年齢、身長、体重、BMI、HbA1c、中性脂肪、コレステロール、肝機能（AST、ALT）、GDMの有無、尿中蛋白、高血圧、インスリン使用の有無、分娩方法、母体合併症、出産週数、出生児の大きさ、アプガースコア、胎児・新生児合併症の有無と内容、母体の人種などを抽出します。

OGTTの血糖値と血中インスリン値よりインスリン抵抗性の指標であるHOMA-IR（空腹時インスリン値×空腹時血糖値/405）、インスリン分泌の指標であるインスリンインデックス（ $\Delta 0-30$ インスリン値/ $\Delta 0-30$ 血糖値）を求め、耐糖能指標とします。周産期合併症と関連する、耐糖能指標と母体背景因子の関連をロジスティック回帰分析にて検討します。また、人種間（日本人とブラジル人）における耐糖能指標と母体背景因子との関連についても検討を行います。

## 研究の期間

2021年9月17日～2023年3月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。  
また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 伊藤 郁子

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年2月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 伊藤 郁子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457 FAX 0853-20-2305